



『令和 7 年度上期 事業実績』の公表

令和7年度上期の事業実績を、以下のとおり公表します。

《令和 7 年度上期事業実績》

	件 数 (前年同期比)	金 額 (前年同期比)
保 証 承 諾	11,661 件 (100.2%)	1,857 億円 (99.2%)
保 証 債 務 残 高	110,779 件 (99.8%)	1 兆 1,961 億円 (96.1%)
代位弁済 (元利)	765 件 (95.9%)	81 億円 (90.3%)

保証承諾について

令和7年度上期の保証承諾は 11,661 件(前年同期比 100.2%)、1,857 億円(同 99.2%)で、前年同期に比して件数で 18 件増加し、金額で 15 億円減少した。

保証承諾金額の減少要因としては、前年度の上期に広く利用のあった「伴走支援型特別保証」の取扱い終了に伴う駆け込み申込が集中した時期に重なったことが影響した。しかしながら、令和 7 年 3 月から取扱いを始めた申込金融機関がプロパー融資を行うこと等を要件とする新制度「協調支援型特別保証」が保証承諾金額 711 億円と大きく伸長した結果により、少額の減少に留まった。

その他の制度では、県小規模事業資金(同 121.8%)や市町村制度金融保証(同 198.0%)等、固定かつ低金利の保証制度が大きく伸長した。

また、経営者保証を不要とする保証承諾件数は 1,935 件(同 115.5%)、630 億円(同 113.7%)で、前年同期に比して件数で 259 件、金額で 76 億円増加した。

保証債務残高について

令和7年 9 月末の保証債務残高は 110,779 件(前年同期比 99.8%)、1 兆 1,961 億円(同 96.1%)で、前年同期より件数で 192 件、金額で 481 億円減少した。

保証承諾は前年比ほぼ横ばいであるものの「ゼロゼロ融資」の返済等により、償還金額が保証承諾金額を上回ったため、保証債務残高は減少が続いている。

代位弁済 (元利) について

代位弁済(元利)は 765 件(前年同期比 95.9%)、81 億円(同 90.3%)で、前年同期に比して件数で 33 件、金額で 9 億円減少した。

代位弁済金額は令和 5 年度上期以降減少が続いている。これは、コロナ禍からの経済活動の正常化に加え、各種借換制度を推進した結果、既存債務の借り換えが進み、中小企業・小規模事

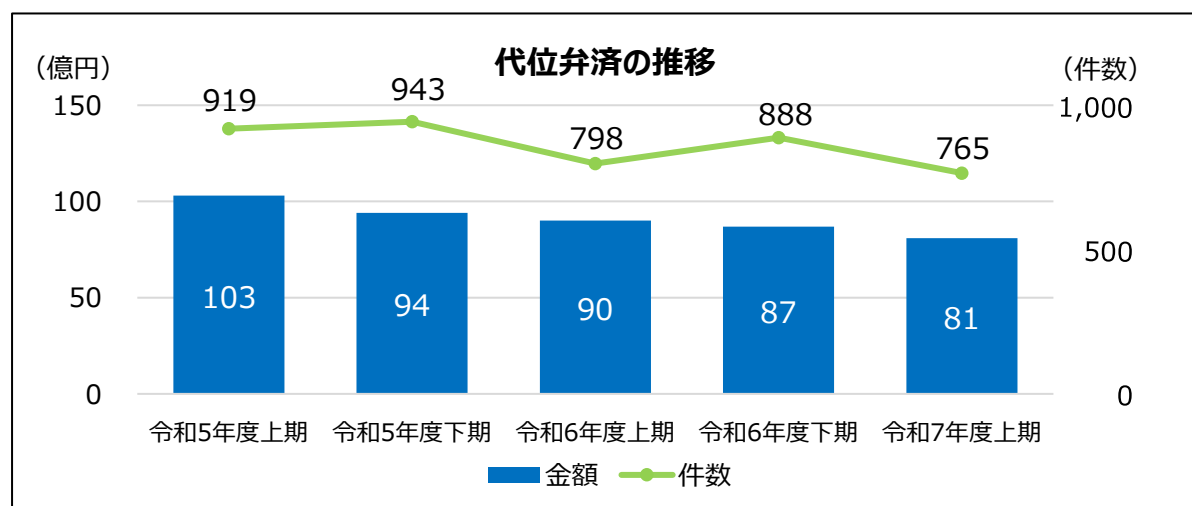
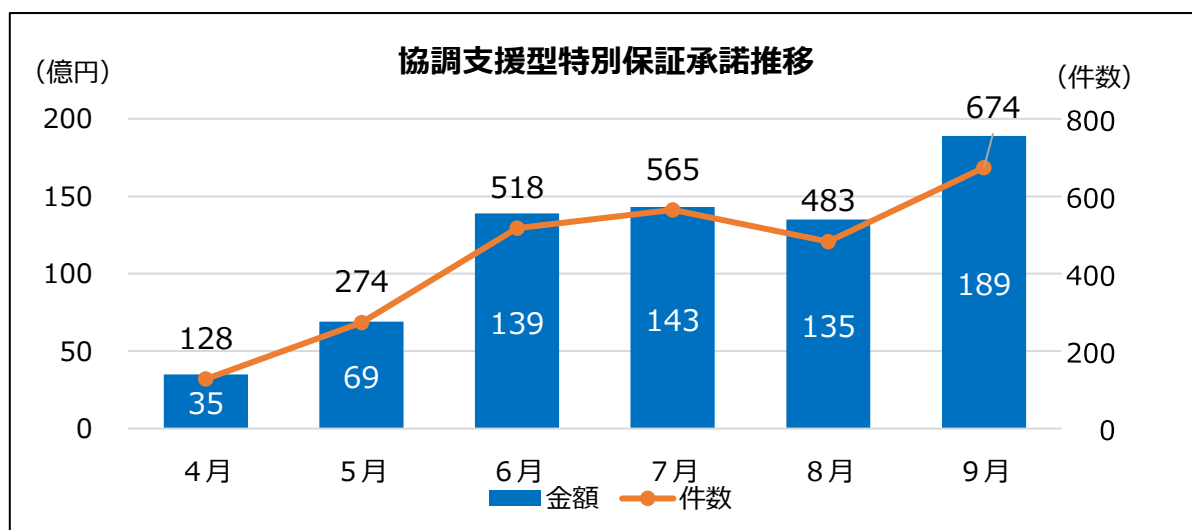
業者の資金繰り状況が安定したことによるものと分析している。その一方で、代位弁済の予備軍となる期限経過債務残高は増加しており、今後の経済状況によっては再び増加に転じることが懸念される。

今後に向けて

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、長引く資材価格高騰によるコスト増加や人手不足等により厳しい状況が続いており、さらには金利上昇に伴う費用負担の増加や米国関税引上げによる影響も今後顕在化してくるものと予想される。

かかる状況下、中小企業・小規模事業者に対して当協会では引き続き「協調支援型特別保証」を中心に金融機関と協力して資金繰りの安定を支援していくとともに、経営支援の面では、金融機関・中小企業支援機関・外部専門家等と連携しながら、最適な支援を届けられるよう努力を続けていく。

《参考》



＜本資料の問い合わせ先＞
 企画総務部 企画課 担当:中村・新井
 TEL:048-647-4712